情報発信で大炎上　編

出演　タッ君　　タ　「

　　　ゲスト　　コ１～「

❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚

あるところにタッ君という男の子がおりました。

タッ君は中学生なのになぜかランドセルをしょっている、ちょっと変わった子です。

　（次へ）

タッ君は、最近自分のホームページを作って，ゲーム情報を発信することにこっています。今日は買ったばかりのゲームについて書くことにしました。タッ君はゲームが大好きで、昨日プレイショッピングストアでゲームをダウンロードしたのです。

タ　「さあ今日の記事は、プロ野球スピン２０１３について、昨日落としたばかりの最新

版です。」

　タッ君のホームページは，それなりに人気があり，コメントの書き込みもできるようになっています。おや，さっそくコメントが書き込まれたようです。

コ１「おーっプロスピ最新版かよ。」

コ２「『落とした』って。ワレモノかよ。」

コ３「なんだ、こいつ割れ厨なのか。」

コ４「こいつ、犯罪者じゃん。」

コメントを見たタッ君は驚きました。

タ　「？？？なんのこと。何言ってんの？ふざけんじゃないよ。」

　知らない間に犯罪者扱いされています。これは訂正しないと大変なことになりそうです。タッ君は急いでコメントに返信しました。

『人を犯罪者扱いするのはやめてください。犯罪者扱いされた人の気持ちを考えてくださ

い。ふざけないでください。』

タッ君が『落とした』と言ったソフトは、お金を払ってダウンロードしたものだったのですが、インターネットの世界で『落とした』とは「不正にダウンロードした。」「犯罪行為を行った。」という意味を表すことが多いのです。タッ君はそんなことは知らなかったので『落とした』という言葉を使ってしまいました。ホームページを訪れた人が勝手に勘違いしたと言えなくもありませんが、勘違いさせるような言葉を使ったタッ君にも責任はありそうです。それに怒りにまかせて返信したタッ君の態度がコメントした人たちにはカチンと来たようです。

コ５「ふざけてんのは、そっちだろう。」

コ６「違法ダウンロードを指摘されて『ふざけんな』とは失礼な。」

タッ君が不用意に「ふざけるな」と発言してしまったのは失敗でした。一度火がつくと勢いが止まらないのがネットの怖いところです。

コ７「管理人、中学生だったな。特定して住所氏名，さらしてやるぞ。」

　おやおや事態は思わぬ方向に進んでいますよ。タッ君はそんなことには気づきません。怒りにまかせて，更に反論します。

タ　「やれるもんなら，やってみろ。」

　あらあらタッ君，火に油を注いでしまいました。お互いに引っ込みがつかなくなってしまいました。

コ８「おおっやってやるよ。後で泣いても許してやらねぇからな。」

コ９「おまえら，全力だ。」

コ10「よーし，こいつの過去のブログやツイートをあさりまくろうぜ。」

コ11「よっしゃ，まかせろ。」

タ　「何？何？何が起こってんの？」

　こうして，タッ君がこれまでにインターネット上で発言した全ての内容が明らかになりとうとう名前や住所までばれてしまいましたとさ。

おしまい。